

事業所名	多機能型事業所すなめりⅠ		公表日		2026年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・ルールを設定し、出来る範囲で子供たちの要望に応えている。	・療育参観など父母や兄弟参加行事時はせまいので人数の調整を行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・利用者さんの人数だけでなく、子供の特性に合わせて相応なスタッフで対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・視覚支援を心掛け、子供が自ら行動、活動出来るように努めている。 ・イライラした時、人と離れたい時など、気持ちを落ち着かせる為の場所を作っている。	・気付いたことは常に声に出してその都度改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・整理整頓、衛生面に配慮している。また、静と動の活動を分ける空間を用意し、安心して過ごせるようにしている。	・こまめな掃除を心掛けていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・その日の様子(機嫌や体調)に合わせ、対応できる部屋がある事で、他の利用者さんにも配慮している。	・したくないことをしなくても良い部屋にならない様、部屋の使い方を職員同士で話し合っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	・気付いたことは常に声に出す。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・気付いたことは常に声に出す。	・迅速に対応、改善し、そのことを職員全体に周知する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・その都度迅速に対応している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		・行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・年間スケジュールで研修を受講している機会を確保している。	・義務化された研修のみならず、自主的に研修できる機会を増やしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・されている。	・時々は内容を見直していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・担当者会議で共有している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・担当者会議で共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・担当者会議で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・担当者会議で共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・担当者会議で共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・立案に対して、職員同士で常に話し合いを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・立案に対して、職員同士で常に話し合いを行っている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・立案に対して、職員同士で常に話し合い を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	10		・立案に対して、職員同士で常に話し合い を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・当日もしくは翌日の支援開始前に共有し ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	10		・その日支援した支援内容は、毎日記録を とっている。その後、職員同士で振り返り を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必 要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・担当者会議で共有している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推 進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認 定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援 内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と 連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている か。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を 受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ 積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	1	・必要に応じて行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の こどもと活動する機会があるか。		10	行っていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		
保 護 者 へ の	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	・必要に応じて面談をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	10		・契約時に丁寧に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の 尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・必要に応じて面談を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保 護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		・同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・連絡帳や直接保護者から話を聞くなどし て対応している。また、必要な際には面談 も行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしてい るか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。	2	8	・保護者会等を設ける等は難しいが、クリ スマス会等の行事にて交流する場面も見ら れる。	

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		・お便りを発信している、	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1	・十分に留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・個別に対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10	・行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・毎月訓練を行い、職員、保護者にも周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・年間計画に沿って訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		・職員会議にて職員に周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・保護者としっかり話し合い、対応するようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・年間スケジュールを組み込んだ研修や訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		・訓練を行った場合には記録に残し、保護者に周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・なるべくその日のうちに職員に情報が共有され、対策について検討されている。	・記録に残すようにしていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・年間スケジュールを組み込んだ研修や訓練を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		・契約時に保護者に十分説明し、同意を得ている。 ・どのような場合に身体拘束を行うかについてチームで話し合っている。		



